

# 公営競技 と 引退競走馬

第5弾 ～感動をありがとう～



2024年5月調査結果



**NR** 日本リサーチセンター  
Member of WIN and Gallup International Association

# 調査目的

みなさん、公営競技といえば、どういう印象ですか？

ギャンブル、借金、怖いなどマイナスなイメージを持っている方もいると思います。

でも、実は競馬や競輪、オートレースなどの公営競技の売上の一部は被災地支援や社会福祉、畜産・技術振興、教育・文化支援、介助犬育成支援など、様々な社会貢献活動に活用されており、みなさんの身近なところで役立っているかもしれません。

そんな公営競技について

- ①現状の把握（購入状況や非参加理由、イメージが悪い理由、参加意向）
- ②今後の参加可能性（押し活の側面から）
- ③今後の参加可能性（カメラ女子・男子の側面から）
- ④社会貢献活動に関する認知・関心
- ⑤引退競走馬に関する認知・関心

を把握することを目的に調査を行ない、5つのレポートにまとめました。

今回のレポートでは

## ⑤引退競走馬に関する認知・関心

について、まとめております。

## 調査概要

- 調査方法 : WEB調査
- 調査対象者 : 日本全国20～49歳男女
- 回収サンプル数 : 500s (2020年国勢調査結果の国籍総数人口の構成比より割付)
- 調査期間 : 2024年5月9日(木)～ 5月14日(火)

## 質問項目

属性	性別、年代、居住地
推し活	推しているもの、情報源、活動状況、今後したいこと、費やした金額
写真撮影	撮影目的の外出、撮影したもの、撮影するカメラ種類
公営競技	購入状況、非参加理由、イメージが悪い理由、今後の購入意向、競技時間の影響
社会貢献活動	関心のある社会課題、支援したい社会課題、公営競技の社会貢献活動認知、投票券を購入したいと思う社会貢献活動
引退競走馬	引退競走馬に関して認知していること、引退競走馬への関心度合い

### 《引用・転載時のお願い》

本レポートの外部への引用・転載の際は、下記連絡先にメールにて掲載のご連絡をお願い致します。

連絡先：日本リサーチセンター広報室 (information@nrc.co.jp)

担当：営業企画本部営業企画部第3チーム 洲上 悠人

掲載では、必ず当社クレジットを明記していただき、調査結果のグラフ・表をご利用の場合も、データ部分に当社クレジットの掲載をお願い致します。

※詳細はお問い合わせください。

# 調查結果

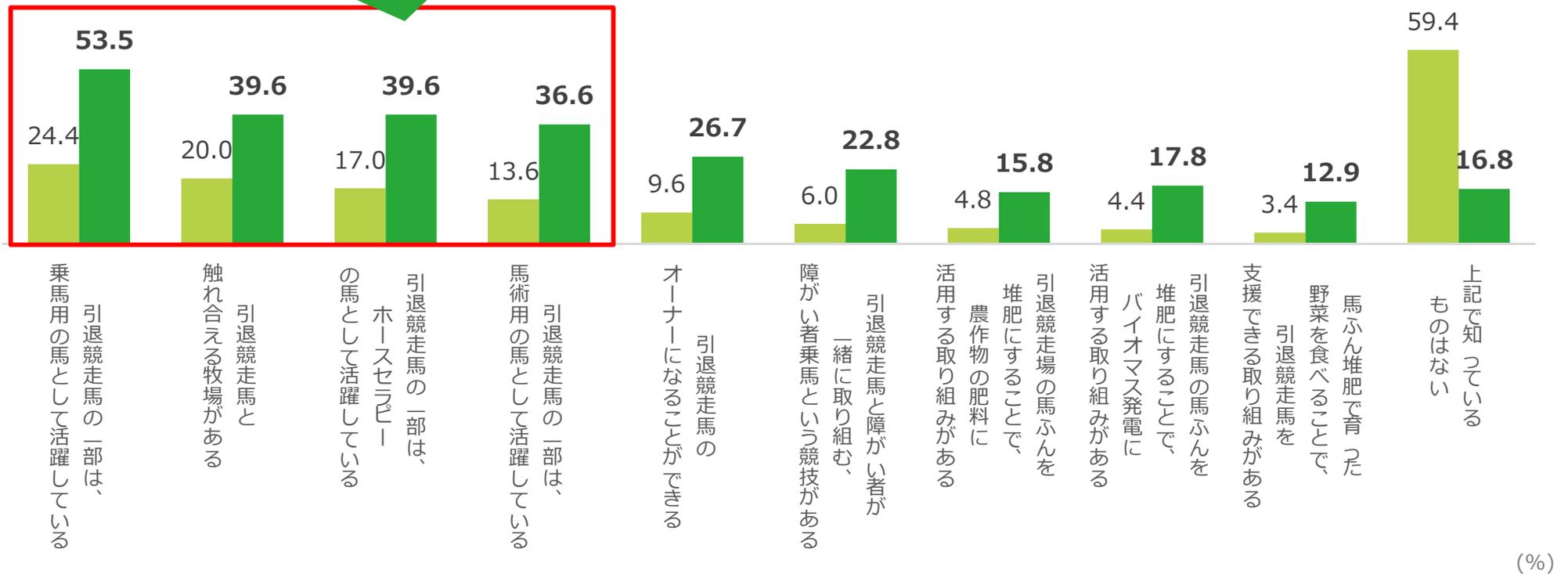
# 引退競走馬に関して認知していること

Q.引退競走馬について、あなたがご存知だったものをお知らせください。(いくつでも)

- 引退競走馬に関する項目で最も認知が高いのは、全体で「引退競走馬の一部は、乗馬用の馬として活躍している」(24.4%)。次いで、「引退競走馬と触れ合える牧場がある」(20.0%)、「引退競走馬の一部は、ホースセラピーの馬として活躍している」(17.0%)など、引退した馬自身に関する項目が上位となっている。
- 競馬購入者でみると、いずれの項目も認知が高いが、特に引退した馬自身に関する項目は、全体と比べて高い傾向。

## 引退競走馬に関する認知項目

引退した馬自身に関する項目は認知が比較的高い傾向

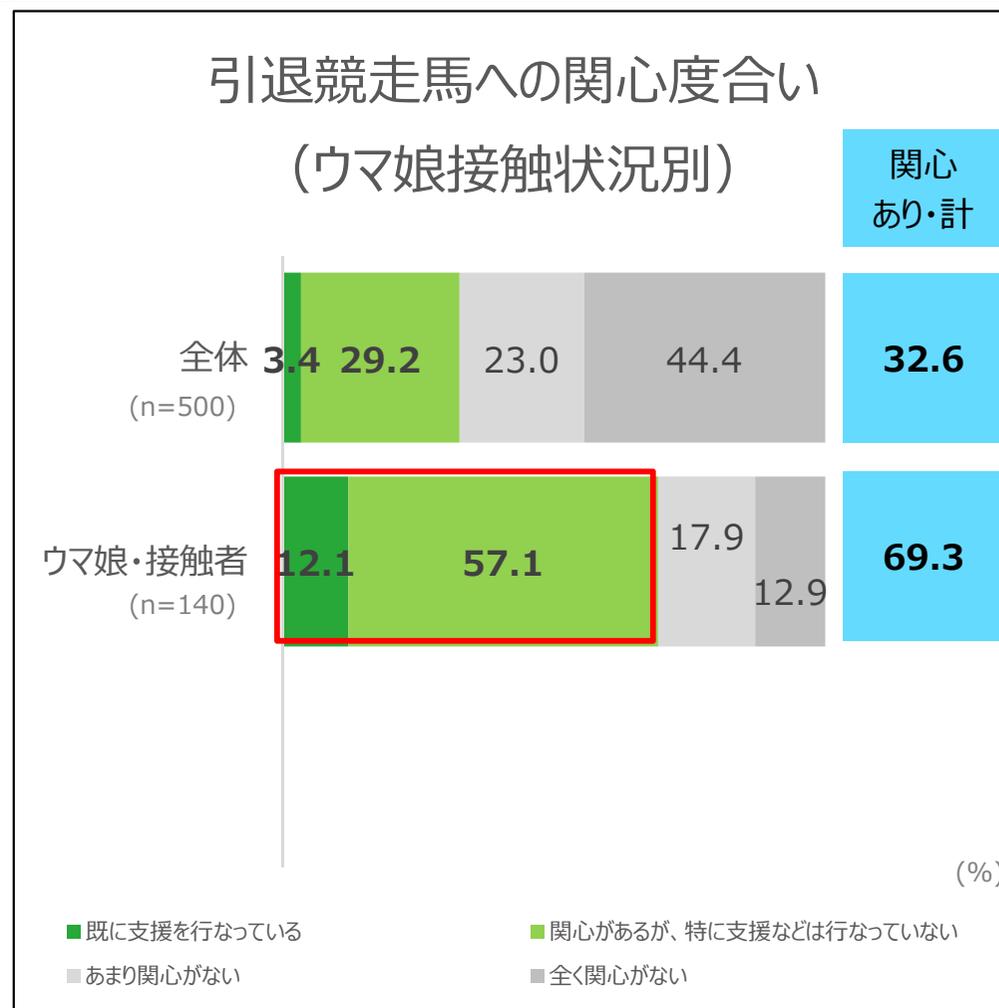
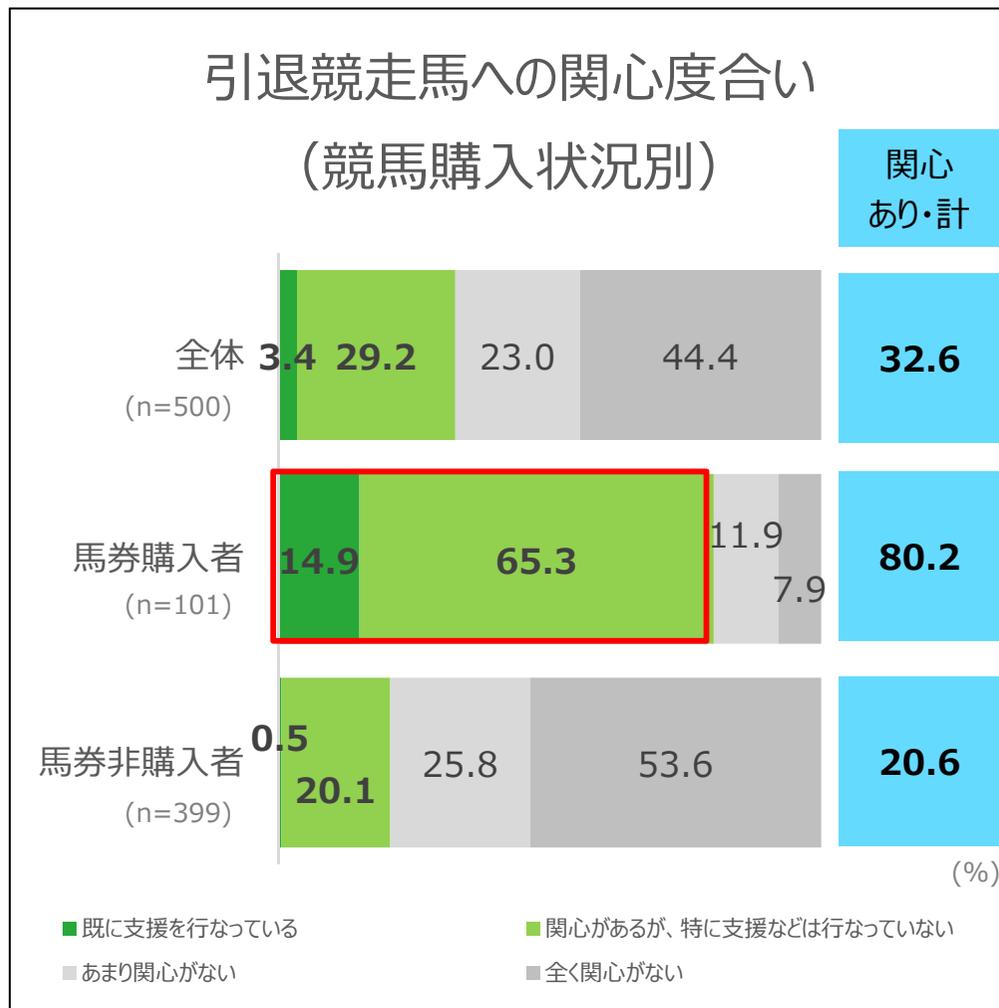


※競馬購入者 = 直近1年間にJRAまたは地方競馬を購入した人

# 引退競走馬への関心度合い

Q.引退競走馬について、あなたはどの程度関心がありますか。(ひとつだけ)

- 引退競走馬に関する関心度合いは、全体で「既に支援を行なっている」が3.4%、「関心があるが、特に支援を行っていない」が29.2%、合わせた「関心あり・計」は32.6%。
- 馬券購入状況別でみると、馬券購入者は「既に支援を行なっている」、「関心があるが、特に支援を行っていない」が全体と比べて高く、「関心あり・計」は80.2%。
- ウマ娘接触状況別でみると、ウマ娘・接触者も「関心あり・計」(69.3%)が、全体と比べて高い。



※関心あり・計 = 「既に支援を行なっている」または「関心があるが、特に支援などは行っていない」回答者  
 ※ウマ娘・接触者 = ウマ娘を認知しており、アニメやゲーム、イベント参加など、何かしら行ったことがある人

「ウマ娘」© Cygames, Inc. All Rights Reserved.

まとめ

# 結果まとめ

## 引退競走馬に関して認知していること

- 引退競走馬に関する項目で最も認知が高いのは、全体で「引退競走馬の一部は、乗馬用の馬として活躍している」(24.4%)。引退した馬自身に関する項目が上位となっている。
- 競馬購入者でみると、いずれの項目も認知が高い。

## 引退競走馬への関心度合い

- 引退競走馬に関する関心度合いは、全体で「既に支援を行なっている」が3.4%、「関心があるが、特に支援などを行っていない」が29.2%、合わせた「関心あり・計」は32.6%。
- 馬券購入者やウマ娘に関連した活動を行なっている人は「関心あり・計」が、全体と比べて高い。

性別・年代・エリア別・各競技購入状況別などのデータをご提供することが可能ですので、ぜひお問い合わせください。

## 結果を受けた感想

引退競走馬について、乗馬用やホースセラピー、馬術用の馬への転身していることなどの認知は、全体で1～2割程度。

直近1年間にJRAまたは地方競馬の馬券を購入した競馬購入者は引退競走馬に関する事柄について、認知が全体と比べて高い。

引退競走馬支援への関心は、馬券購入者やウマ娘に接したことがある人は、それぞれ8割、7割が関心ありとなっている。

まずは、これらの関心が高い層に対して引退競走馬に関する取り組み、それに関連した馬ふんなどの支援活動などを認知してもらい、支援するきっかけを創出していくことが必要であろうと考えられる。

